

平成28年度調査研究成果の報告会 挨拶

平成29年8月3日

幌延深地層研究センター所長 山口 義文

本日はお忙しい中、幌延深地層研究計画 平成28年度調査研究成果の報告会に足をお運びいただき、ありがとうございます。

センター所長を務めております山口と申します。

まず最初に、6月6日、大洗研究開発センター燃料研究棟で汚染事故を発生させ、現在に至るまで国民の皆様へ、多大なご迷惑及びご心配をおかけしていることをご詫言申し上げます。

内部被ばくに至った原因究明と再発防止に全力を尽くしており、国民の皆様からのご意見等に真摯に対応しながら、信頼回復に努めてまいります。

次に、先週28日に、「科学的特性マップ」が公表されましたが、地層処分技術の研究開発を行っている当センターとしても、「科学的特性マップ」の公表が国民の皆さまの地層処分に関する関心を喚起し、理解を深めていただく機会となることを期待しています。

一方、当センターの事業については、今後とも、地層処分技術の信頼性の向上を図り、研究開発およびその成果の発信を通じ、地層処分や研究の理解促進により一層貢献したいと考えています。

さて、幌延深地層研究センターについては、中長期計画に基づいて策定した、平成28年度調査研究計画を安全第一に進め、着実に成果をあげることが出来ました。これも、幌延町を中心とする地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝しています。

この成果についての報告書が完成しましたので、本日、その概要を報告させていただきます。

今後も調査研究を継続し成果を積み重ねてまいりたいと考えておりますが、研究を進めるに際して幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら公明正大に、かつ最大限の成果が得られるように進めていければと考えています。

それでは、平成 28 年度の調査研究成果を報告させていただきますので、ご意見等いただければ幸いと存じます。

今後とも、安全を第一に情報公開を徹底させながら、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。